



I'mPOSSIBLE

LEARN. ENGAGE. INCLUDE.

1-3

「勇気」「強い意志」「インスピレーション」
について考えてみよう！

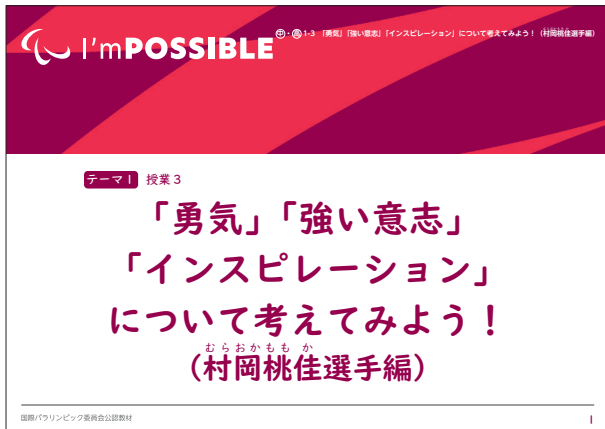
むらおかもも か
(村岡桃佳選手編)

教師用 授業ガイド

(中学生・高校生版)

- 授業の展開にそって、【指導・声かけ例】【+アルファ情報】を掲載しています。
- 【+アルファ情報】は、すべて伝えなければならない情報ではありません。興味・関心を引き出すために、クラスのそれまでの学習経験なども踏まえてご活用ください。
- 一方的に教師が話すのではなく、児童の既習事項などと絡め、児童に考えさせるような展開にしましょう。

(教材の内容は、2022年4月1日現在の情報をもとにしています。)



【指導・声かけ例】

- ・村岡選手を紹介する映像を見せる前に、「パラリンピアンって何だろう？」「村岡選手は何のスポーツをしているのかな？」など、知っている人がいるかを聞いてみる。
- ・パラリンピアンとは、パラリンピック出場経験者のみを指す（パラアスリートとは、パラリンピック出場の有無にかかわらず、競技スポーツに参加している障害のある全てのアスリートを指す）。
- ・パラリンピックの価値（「勇気」、「強い意志」、「公平」、「インスピレーション」）について理解する授業であるが、この授業では、特に「勇気」「強い意志」「インスピレーション」に焦点を当てる。

+アルファ情報

【パラリンピックのアルペンスキー】

パラリンピックのアルペンスキーは、3つのカテゴリごとに行われる。

- ・立位（スタンディング）
- ・座位（シットイング）
- ・視覚障害（ビジョンインペアメント）

3つのカテゴリは、さらに障害の種類や程度、運動機能などによってクラス分けされ、実走タイムにクラスごとに設定された係数を掛けた計算タイムで順位が決まる。座位の選手はチェアスキーに乗って滑走し、視覚障害カテゴリの選手は、前方を滑る「ガイドスキーヤー」の音声によるサポートを受けて競技する。

【村岡選手のこれまでの記録】

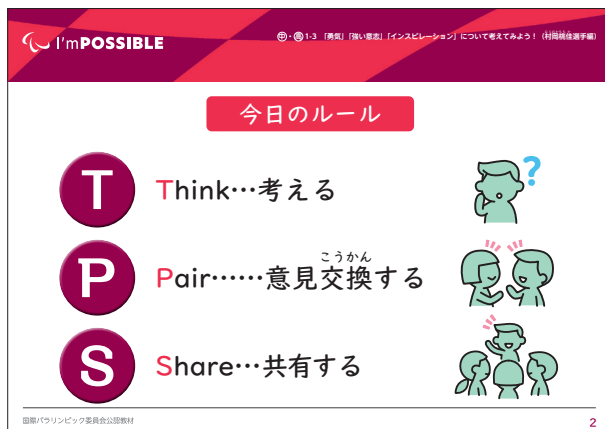
2014年のソチパラリンピック 5位。

2018年の平昌パラリンピックでは出場全5種目でメダル獲得（金メダル1つ含む）。

2021年東京パラリンピックでは、陸上競技（100m）6位。

2022年の北京パラリンピックでは3種目で金メダル、1種目で銀メダルを獲得。

夏季、冬季両方のパラリンピックに出場した。



【指導・声かけ例】

【T・P・Sの実践】

本授業ではアクティブ・ラーニングの1つの手法として、T・P・Sによるディスカッションを活用したアウトプット型の学習スタイルを採用している。一方向的な授業で知識を伝達するインプット型の学習ではなく、個人で考えた（Think）後に、隣同士での意見交換（Pair）やグループ、クラスでの意見の共有（Share）を通して、与えられたテーマについて能動的に意見を持ち、パラリンピックの価値の理解を深めていく。

+アルファ情報

【アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）】

一方向的な講義形式の教育とは異なる、生徒の主体的で対話的な学習法。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれ、手法としてはグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどがある。本教材の授業シートには、「T」「P」「S」のマークが付けられており、各シーンで生徒が一人で考えるのか、隣の人と意見交換するのか、グループやクラスで発表するのかがわかるようになっている。

I'mPOSSIBLE ④・⑤ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡桃佳選手)

P むらおかもも か
村岡桃佳選手の映像を見て、
感じたことを発表しよう！



国際パラリンピック委員会公認教材 3

【指導・声かけ例】

- ・映像を見終わった後に、数人の生徒に感想を発表させる。
- ※教師は、クラスのスキー経験者にスキーの難しさを発表させるなどして、1本のチェアスキーがいかに難しいかを伝えるなどの工夫をする。
- ※右の「+アルファ情報」の内容を伝えて、チェアスキーへの興味を喚起してもよい。
- ※障害に関するネガティブなコメント(「かわいそう」など)に対しては、生徒の意見を尊重した上でポジティブなコメントを必ず紹介し、力強さや素晴らしさ、スポーツとしての面白さにも着目するように促す。

+アルファ情報

【チェアスキー】

パラリンピックのアルペンスキーで、座位(シットिंग)の選手が使用するスキーをチェアスキーと呼ぶ。チェアスキーに装着するスキー板は通常1本で、選手は上手にバランスをとりながら滑走する。人間のひざの代わりに衝撃を吸収する「サスペンション」が備わり、前面には空気抵抗を最小化する「カウル」と呼ばれる風よけを付けて、100分の1秒を競う。滑走はオリンピックと同じコースを使用し、トップクラスの選手たちは、チェアスキーによって時速100kmを超える高速滑走や、雪面ギリギリまで体を倒したターンなど驚異的なパフォーマンスを実現する。



I'mPOSSIBLE ④・⑤ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡桃佳選手)

T S むらおかもも か
村岡桃佳選手の資料を読もう。

- 「すごい」・「大変そう」と思うことに線を引こう。
- 自分がインスピレーションを受けたこと(心を揺さぶられたことや、刺激を受けたこと)を書こう。

国際パラリンピック委員会公認教材 4

【指導・声かけ例】

- ・資料に下線を引かせる際、生徒自身が読み返したときに「すごいと思ったところ」と「大変そうだったところ」が一目でわかるように、2色で区別させるとよい。
- ・生徒から出てきた発表を、「すごいと思ったところ」と「大変そうだったところ」に分けて板書すると整理しやすい。
- ・「インスピレーションを受けたこと」が想像できない生徒には、「まねしたいこと」、「見習いたいこと」「感じたこと」などに言い換えてもよい。

+アルファ情報

【村岡桃佳選手補足資料】

- ・4歳の時に横断性脊髄炎になり、車いす生活となった。
- ・小学生のときは車いす陸上をしていたが、友達に誘われて始めたチェアスキーにのめり込み、中学3年生のときに初めて海外試合に参加。高校2年生でソチパラリンピック代表に選ばれる。
- ・中学生のときは、専門のコーチがいなかったため、父との二人三脚で練習を続けた。
- ・早稲田大学のスキー部の寮では、当時の監督の協力もありバリアフリー化が進められた。
- ・大学では、授業が終わると自ら運転する車で、トレーニング施設に移動してトレーニングを行い、寮に戻るのには夜の10～11時。
- ・大学では前期に多くの単位を修得し、海外に行くことの多い後期はオンデマンドの講義で単位を取るなどの努力をした。

I'mPOSSIBLE ④・⑤ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡選手選手)

村岡選手がなしとげたかった目標
 ビョンチャン **平昌大会で必ず表彰台に立つこと**

しかし、ハードルの存在！

ハードル

- ソチ大会での失格
- スキーをやめたいという気持ち

国際パラリンピック委員会公認教材 5

【指導・声かけ例】

- 村岡選手が「なしとげたかった目標」と「目標達成の前に立ちはだかるハードル」について確認する。

+アルファ情報

【村岡選手のソチ 2014 パラリンピック大会の成績】

- 回転 9 位
 - 大回転 5 位
- ※初戦のスーパー大回転は旗門不通過で失格。

I'mPOSSIBLE ④・⑤ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡選手選手)

ハードルを乗り越えて前進！

- 早稲田大学スキー部に入部。
- 行き詰まってもあきらめず、自分の気持ちを立て直していった。

ビョンチャン **平昌大会の出場全種目でメダルを獲得。**
 (金 1、銀 2、銅 2)



国際パラリンピック委員会公認教材 6

【指導・声かけ例】

- 村岡選手が「どのようにしてハードルをクリアしたのか、その結果、村岡選手はどのようになったのか」を確認する。
- ※最終的に村岡選手は「勇気」「強い意志」を持って目標に向かって突き進んでいることを理解させる。

+アルファ情報

【村岡選手 平昌 2018 パラリンピック大会成績】

- 女子大回転 (座位) 金メダル
- 女子滑降 (座位) 銀メダル
- 女子回転 (座位) 銀メダル
- 女子スーパーコンビ (座位) 銅メダル
- 女子スーパー大回転 (座位) 銅メダル

I'mPOSSIBLE ④・⑤ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡選手選手)

村岡選手からのメッセージ

映像を見よう！



国際パラリンピック委員会公認教材 7

【指導・声かけ例】

- 村岡選手にとっての「新たな一歩」とは、ずっと憧れだった早稲田大学に合格するために努力したこと、また、スキーをやめたいという悩みを周囲の者に相談し、自分の気持ちを立て直そうと努力したことだと理解させる。
- このシートを見せた後に、〈映像資料 DVD：村岡選手からのメッセージ〉を見せる。

+アルファ情報

- 授業シートの写真は、村岡選手が平昌 2018 パラリンピック大会開会式で旗手を務めたときの様子。

I'mPOSSIBLE ②・③ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡桃佳選手)

むらおかもも か
村岡桃佳選手からのメッセージ



いっしょ
一緒に新たな一歩を
踏み出せるように
がんば
頑張りましょう。

国際パラリンピック委員会公認教材 8

【指導・声かけ例】

- ・映像メッセージの最後の「一緒に新たな一歩を踏み出せるように頑張りましょう」という言葉が、次の展開へのつなぎとなるため、しっかり押さえておきたい。
- ※最終的に村岡選手は「勇気」「強い意志」を持って目標に向かって突き進んでいることを理解させる。

I'mPOSSIBLE ②・③ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡桃佳選手)

💡 T むらおか
村岡選手の姿を見て
自分を振り返ろう。①

自分にとって
「勇気」「強い意志」を持って
成しとげたい「新たな一歩（目標）」
とは何だろう？

国際パラリンピック委員会公認教材 9

【指導・声かけ例】

- ・これまで学習した村岡選手の経験を踏まえて、今度は自分に置きかえて考えさせる。

〈発問例〉

村岡選手の目標は、平昌大会で表彰台に立つことだったね。そのためにはいろいろなハードルがあったけれど、希望の大学に入ったり、周りの助けを借りたりしてクリアしていったよ。では、きみたちにとって「勇気・強い意志」を持って成しとげたい「新たな一歩（目標）」って何だろう？

- ・「高校や大学受験で1つ上のレベルの学校に合格すること」などの学業に関する目標、「〇〇の職業に就くこと」などの将来の夢、または「部活の都（道府県）大会でベスト8に入る」など日常で取り組んでいることに関する事など、成し遂げたい「新たな一歩」については、生徒自身が最も切実に考えている内容となるように指導する。ただし、簡単に達成できる目標ではなく、村岡選手のように、「勇気」「強い意志」を持たないと達成できない目標を設定できるように助言する。

I'mPOSSIBLE ②・③ 1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！ (村岡桃佳選手)

💡 T むらおか
村岡選手の姿を見て
自分を振り返ろう。②

■ 自分の目標達成の前に立ちはだかる
ハードルとは何だろう？

■ ハードルを越えるために、
何をしたらよいだろう？

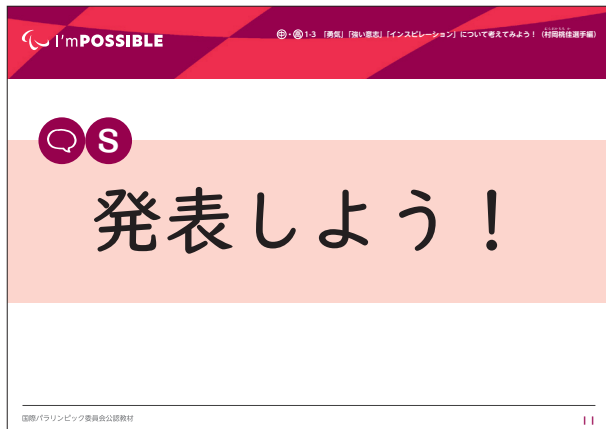
国際パラリンピック委員会公認教材 10

【指導・声かけ例】

- ・目標を達成するために、今まで実行してこなかったアプローチを考えさせる。(具体的な行動で考えるようにする)
- ・ハードルを越えるために行うことについては、できるだけ具体的に言葉にするように助言する。

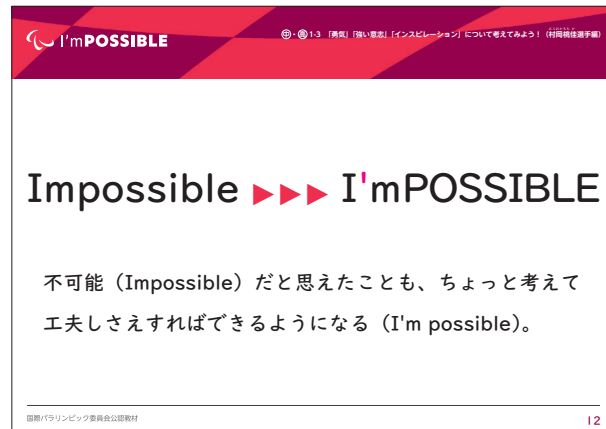
〈例①〉「毎日勉強をする」ではなく「苦手な英語を得意科目にするために、単語・イディオムを毎日10ずつ覚える」

〈例②〉「毎日、練習をする」ではなく、「日々の練習について効果的なメニューを考えて、顧問の先生に相談する」



【指導・声かけ例】

- ・数名を指名してクラスで発表させる。また、グループごとに発表者を1名選ばせて発表させるなど、工夫する。



【指導・声かけ例】

【声かけ例】

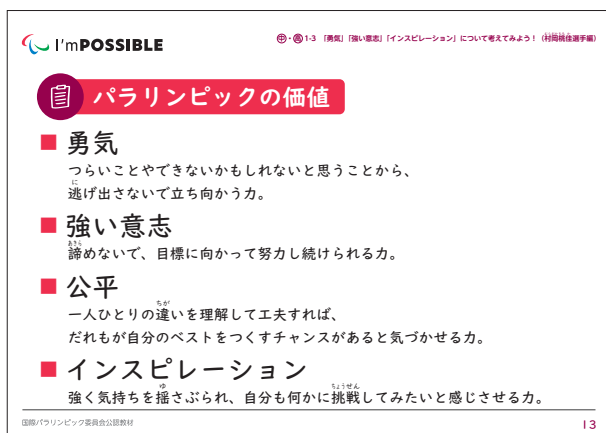
この教材の名称は「I'mPOSSIBLE」です。「Impossible」と比べて、どんなことに気付くかな？

〈本教材「I'mPOSSIBLE」の基本的な考え〉

「I'mPOSSIBLE」には、「不可能（Impossible）だと思ったことも、ちょっと考えて工夫しさえすればできるようになる（I'm possible）」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージを込めてつくられた言葉。

※正しい英語表現では「It is possible for me.」。

参考映像資料：I'mPOSSIBLE の由来 を見せてもよい。



【指導・声かけ例】

- ・パラリンピックの4つの価値を確認する。
- ※高校生には、右の「+アルファ情報」のような表現で紹介してもよい。
- ※「公平」については、1-4「公平」について考えてみよう！で学習する。

